

令和 5 年度厚生労働省委託
「放射線被ばく管理に関する労働安全衛生マネジメントシステム導入支援事業」
のご案内

平素より、当センターの活動につきましては、ご理解、ご協力を賜り、誠に有難うございます。

さて、当センターでは、令和 2 年度以降、厚生労働省委託事業「放射線被ばく管理に関する労働安全衛生マネジメントシステム(放射線 MS)導入支援事業」を実施してまいり、令和 5 年度におきましても、引き続き、実施することとなりました。

本事業では、放射線業務を行う医療機関を対象に、講演会及び基礎研修、専門研修、報告会を開催するとともに、相談窓口を設置して、放射線 MS を導入・運用する医療機関の拡大を図り、また、医療従事者に対する放射線管理体制の強化(組織的な線量管理と被ばく低減対策の実施)を支援するものです。支援の概要は以下のとおりです。

1. 支援期間

令和 5 年 9 月～令和 6 年 2 月

2. 支援の概要

①講演会【9 月 12 日開催】

講演会では、医療機関の理事長、病院長、事務長、総務部長などの経営者層の方を対象として、経営層の目線での職員の放射線防護に関するインタビューのほか、放射線 MS の導入・運用に関する改善や課題等に関する討論を実施いたします。

②基礎研修【第 1 回 9 月 25 日、第 2 回 10 月 2 日、第 3 回 10 月 23 日開催】

基礎研修では、放射線管理体制の強化を図ることを目的として放射線 MS の導入・運用を検討されている事業場を対象として、労働安全と放射線管理の関係や放射線 MS の仕組みの活用方法等について 3 回に分けて研修を行います。

③専門研修【10 月 30 日開催】

専門研修では、放射線 MS の内部監査の実施を考えている事業場を対象とし、放射線 MS の内部監査の考え方、実施方法等について事例紹介を交えた研修を行います。

④報告会【令和 6 年 2 月 28 日開催】

報告会では、放射線 MS 導入・運用に関する好事例の報告と討論により、放射線 MS 導入・運用によるメリットや、改善及び問題解決等の情報共有を図り、放射線管理体制の強化に資するものとしします。

3. 支援方法

オンライン(ZOOM)開催

なお、当日、参加できなくても、後日、録画を視聴することが可能です。

4. 申込みについて

(1) 申込み期限

- ①講演会:令和5年 9月 7日(木)
- ②基礎研修:令和5年10月19日(木)
- ③専門研修:令和5年10月26日(木)
- ④報告会:令和6年 1月頃にご案内予定です。

(2) 申込み単位

事業場の申込みと個人の申込みが必要です。
なお、1事業場から複数の受講者の申込みが可能です。

(3) 申込みのための Web サイト

6月26日(月)から、以下のサイトで申込みの受付を開始しています。

URL <https://www.rad-ms.mhlw.go.jp/>

5. 修了証の発行

基礎研修では、所定の要件を満たした個人宛又は事業場宛の修了証を発行します。

また、専門研修では、所定の要件を満たした個人宛のみ修了証を発行します。事業場宛に対しては発行いたしません。

なお、講演会、報告会では修了証は発行いたしません。

6. 生涯教育システムへのカウント付与

基礎研修並びに専門研修では、日本診療放射線技師会の会員の方が研修を修了されると、同技師会の生涯教育システムに基づくカウント付与の申請対象となります。なお、カウント付与には、個人宛の修了証が必要です。

7. 相談窓口の設置

被ばく低減・放射線管理に関する課題解決のために、被ばく低減対策等に関する専門的な相談・助言を行います。

【お問合せ先・事務局】

公益財団法人原子力安全技術センター 業務部 MS 事業係

TEL:(03)3830-0720 (MS 事業係直通)

受付:10:00~12:00・13:00~17:00

(土・日・祝日・創立記念日(10月13日)及び年末年始を除く)

E-mail:ms-info@rad-ms.mhlw.go.jp

特設 Web サイト <https://www.rad-ms.mhlw.go.jp/>

ツイッターアカウント MS 導入支援事務局 @rad_ms2022



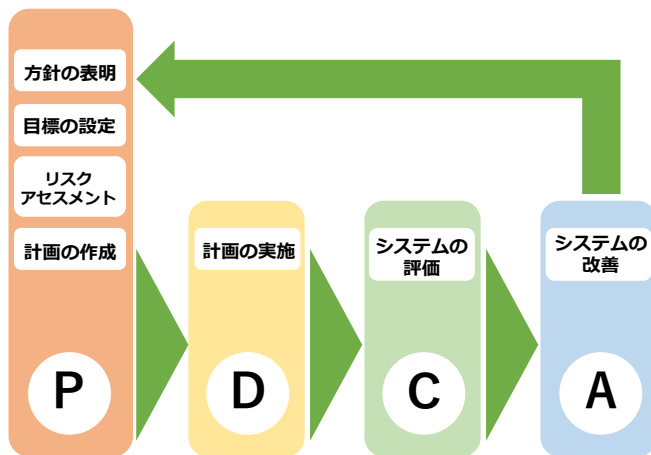
オンライン (Zoom) によるWeb開催 放射線被ばく管理に関する マネジメントシステム導入支援のご案内

令和3年4月から、眼の水晶体に受ける等価線量の限度値が引き下げられ、放射線業務従事者の健康障害を予防するため、被ばく低減に取り組むことが求められています。

厚生労働省の第14次労働災害防止計画では、医療機関に対し、放射線被ばく管理に関するマネジメントシステム（放射線MS）の導入を支援することとしました。

本事業は、放射線業務を行う医療機関を対象として、研修等（詳細は裏面をご参照ください！）を通じて、放射線MSの導入による放射線管理体制の強化を支援します。

参加費は無料です。



放射線MSに取り組んでいる 医療機関の好事例

- ★放射線防護検討委員会の発足や、衛生委員会の委員に放射線管理室の職員が任命されるなど、体制の改善が図られた。
- ★放射線MSを活用して、「研修会の開催」、「リスクアセスメントの分類」、「線量バッジ装着率の向上」に取り組んでいる。
- ★研修会で学んだ文書例をもとに機関の実情に合わせながら、放射線MS運用に必要な書類等を作成している。



詳しくはこちら



← 個人ごとにプロテクタと線量バッジを管理している例

お申込み手順

Webサイト TOPメニューの「事業概要」と「お申込みについて」をよくご確認の上「参加申込み」よりお申込みください。

お問合せ先・特設Webサイト 最新情報はこちら

TEL

(03)3830-0720 放射線MS担当直通

Webサイト

<https://www.rad-ms.mhlw.go.jp/>

詳しくはこちら



Twitter

アカウント名

MS導入支援事務局

@rad_ms2022



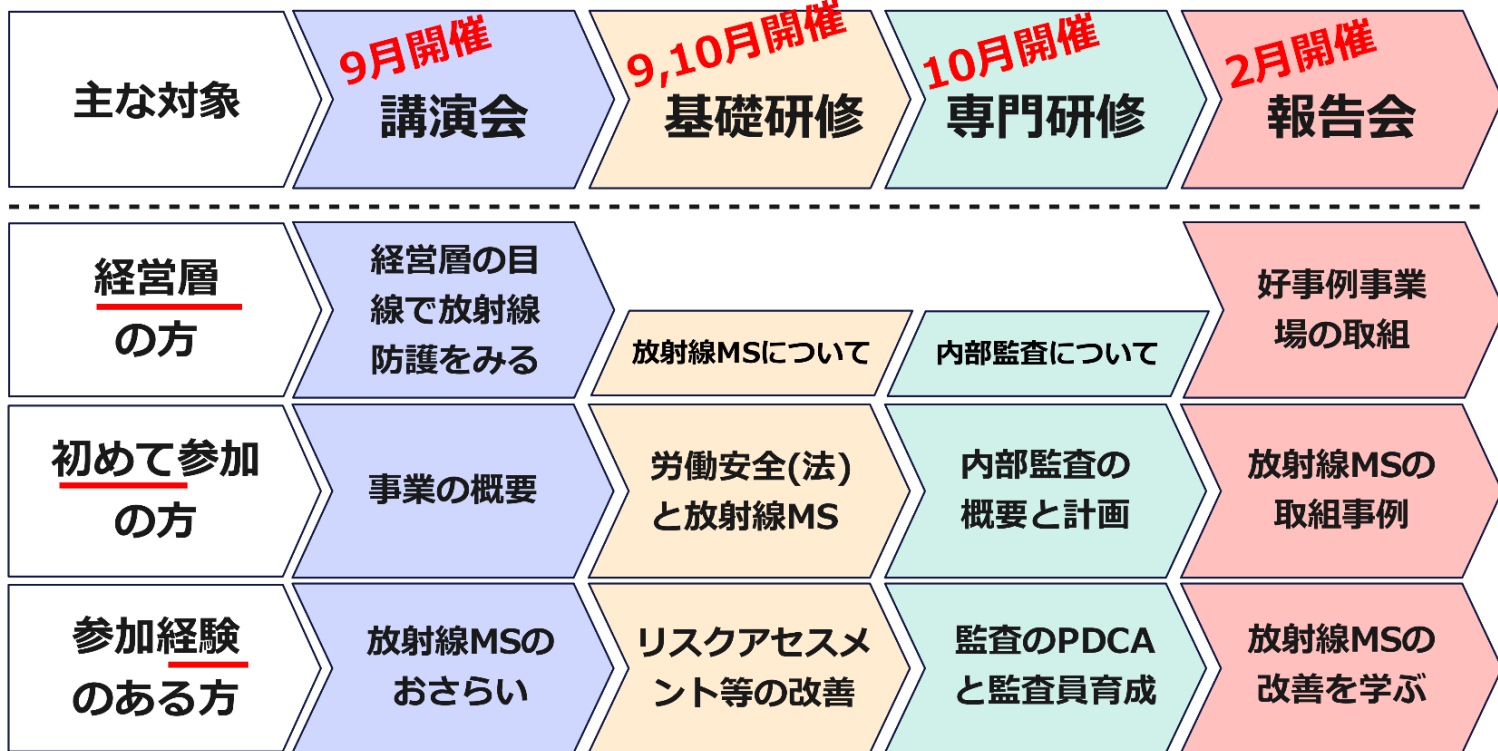
本事業は、厚生労働省の委託業務として、公益財団法人原子力安全技術センターが 関係機関の協賛・協力を得て実施するものです。

協賛：公益社団法人日本診療放射線技師会

一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会

協力：産業医科大学

放射線被ばく管理マネジメントシステム導入支援 イベント内容



	講演会	基礎研修	専門研修	報告会
主な対象	経営層の方	初めて参加の方	参加経験のある方	医療機関の方
主な内容	経営者に対する「経営層の目線で放射線防護」インタビューと有識者等による討論	第1回 労働安全(法)と放射線MSの仕組み 第2回 目標,計画の設定 第3回 監査,改善	内部監査の視点、計画、実施、報告、及び内部監査員の育成等	放射線MS導入、運用の好事例の報告と有識者等による討論
開催日時	9月12日(火) 13:00~16:30 (途中入退室可)	第1回 9月25日 第2回 10月 2日 第3回 10月23日 いずれも月曜日 13:00~16:00	10月30日(月) 13:00~16:00	2月28日(水) 13:00~16:00 (途中入退室可)
申込期限 ※要事前登録	9月7日(木)	10月19日(木)	10月26日(木)	令和6年1月頃 ご案内
日本診療放射線技師会の生涯教育システム(カウント付与)対象	---	対象	対象	---

- ※ 当日出席できなかった方は、後日Webサイトで録画映像の視聴が可能です。
- ※ イベントは全てZoom開催です。いくつでもお申し込みいただけます。
- ※ 参加費は無料です。
- ※ 都合により、予告なく内容等が変更になる場合がありますので予めご了承ください。